



平成 18 年 12 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション
代 表 者 名 代表取締役社長 二 宮 利 彦
コ ー ド 番 号 1 7 1 2 東 証 マ ザ ー ズ
問 合 せ 先 取締役企画管理部長 村 上 実
電 話 番 号 0 5 2 (6 1 1) 6 3 5 0 (代 表)
当社の親会社 株 式 会 社 ダ イ セ キ
代 表 者 名 代表取締役社長 伊 藤 博 之
コ ー ド 番 号 9 7 9 3 東 証 ・ 名 証 第 一 部

平成 19 年 2 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の状況を踏まえて今後の動向を検討した結果、平成 18 年 9 月 27 日に公表いたしました平成 19 年 2 月期(平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日)の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想数値の修正(平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,000	400	235
今 回 修 正 予 想 (B)	5,400	510	300
増 減 額 (B-A)	400	110	65
増 減 率 (%)	8.0	27.5	27.7
前 期 (平成 18 年 2 月期) 実 績	3,215	181	105

2. 修正理由

不動産売買をはじめ、減損会計、環境報告書他、様々な経済活動の中で、土壤汚染に係わる環境リスクの認識が一層深まり、浸透しております。そうした社会的背景のもとに、土壤調査・処理とも、実施件数は着実に増加しております。当期は期首から受注が好調に推移したことにより、業績の大幅な伸長が見込まれることとなりました。また、足元の受注状況につきましても引き続き順調に推移しており、年末から年度末にかけても受注状況は概ね好調に推移するものと思われまます。

これらの状況を背景に、当期の売上高は 5,400 百万円(前回予想比 400 百万円の増加)、経常利益 510 百万円(前回予想比 110 百万円の増加)、当期純利益 300 百万円(前回予想比 65 百万円の増加)となる見込みであります。

以上